

資源の有効利用

事例名	2. トンネル直張り内装工
工事名	一般国道324号出島バイパス
施行場所	長崎市新地町～早坂町
事業年度	平成4年度～平成15年度
実施機関	出島バイパス建設事務所
適応可能な事業	道路、建築

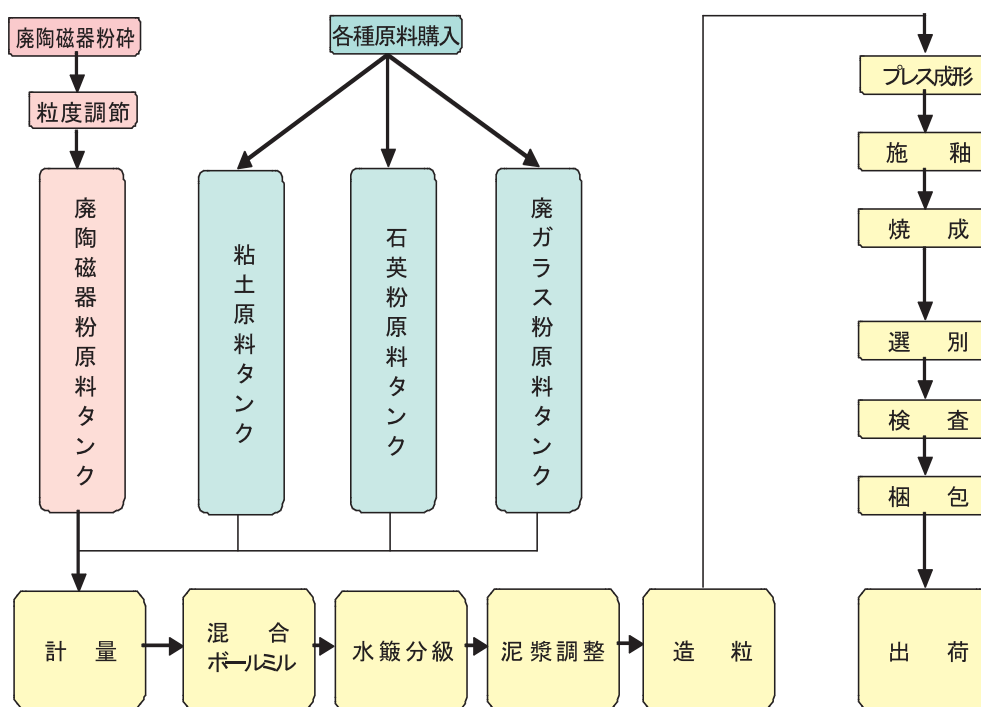
<具体的な環境配慮内容>

陶磁器廃棄物を50%以上再使用し「資源循環」、「環境負荷の低減」を行っている。

<環境配慮の目的と視点>

主原料に廃セラミックスのリサイクル品を使用する事で、地球環境を考慮している。

<環境配慮技術の概要>





<環境配慮による効果>

トンネル内装工を施すことにより、視環境が改善され、

- ①前方車両や障害物の背景となり、視認性の向上を図り適切な視環境を確保する。
- ②美観を整え、運転者に対し不快感を与えない。
- ③トンネル壁面の位置を運転者に容易に視認させ、かつ視線誘導効果を向上させ交通の安全な誘導をはかる。
- ④照明の効果を向上させる。

等の効果が得られる。

また、廃棄物を用いたリサイクル品を公共工事で積極的に利用することにより、リサイクル品の利用促進を図ることができる。

<課題等>

適用条件として、次の事項を考慮しながら検討する必要がある。

- ①交通量
- ②トンネル延長
- ③幾何構造（縦断勾配・曲率半径など）
- ④交通特性（大型車混入率など）
- ⑤連続トンネル区間